

# 鈴木すみえ 仙台市議会市政活動報告

## 市民フォーラム仙台

通勤バスを活用した地域モビリティの実証実験について  
GIGA スクール関連の予算について  
男女共同参画課の新たな取組について

仙台市議会決算等審査  
特別委員会にて登壇

鈴木すみえ  
仙台市議会議員(若林区)

市民協働推進課長・ICT教育推進担当課長・男女共同参画課長に伺いました!

若林区荒井藤田

荒井地区  
における

### 地域企業の通勤バスを活用した地域モビリティの実証実験について

鈴木  
すみえ

事業名、**地域づくりパートナープロジェクト推進助成事業**について、荒井地区における地域企業の通勤バスを活用した地域モビリティの実証実験、**ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成**、この協働の相手方として「**一般社団法人荒井タウンマネジメントと産電工業株式会社**」があり、この事業内容について経年の経過も含めて伺う。

市民協働  
推進課長

本実証実験は、私どもの**地域づくりパートナープロジェクト推進助成金**の交付を受けた、地域団体と地域企業が協働で実施している事業。地域企業が運行する通勤バスを活用して、**通勤用として稼働していない時間帯でのバス活用による地域モビリティの事業性を検討するための事業**となっており、令和4年度には**実証実験としてモニターを募ったバス運行**が行われた。令和5年度も助成金を受け、**バス運行実験や事業の持続化に向けた検討**などが行われる計画。

鈴木  
すみえ

**令和4年度の総事業費は幾らですか**。新たな財源を確保して、積極的に取組を進めていただきたい。この実証事業の周知は十分でしたか。住民の方々にはどのように周知されたか、または何か特別な安全対策が行われてたのかを伺う。

市民協働  
推進課長

**令和4年度の本実証実験の総事業費は333万円余**。  
まず、実証実験の周知広報について、地元町内会の協力を得ながら、町内会の会合等で実証実験の内容の説明や、**バス運行実験のモニター募集のチラシ3,000部を地域に配布する**などの周知が行われた。令和5年度の実証実験においても「**町内会の回覧版を活用・地元企業の社員にモニター参加を呼びかける**」などの周知に努めていると伺っているところ。

鈴木  
すみえ

**コストや待ち時間の増加などが見込まれる**ので、もう少し幅を広げて実証実験を進めていただきたい。また、モニター、協力者は十分であったのか。アンケートの調査実施や結果の報告や公開についてはどうなっているか。また、**バスの利用に当たっては、スマホの操作が求められ、御年配の方は難しい**という方もいますが、この点はどうですか。

市民協働  
推進課長

令和4年度に実施したバス運行実験のモニター募集に当たりましては、**募集人数50人に対して46名の参加**、令和5年度のモニター募集については、**募集人数約100名を目標**でしたが、**まだ年度途中の段階で既に77名の申込み**があると伺っています。令和4年度に実施したモニターへのアンケート調査の結果は、11月初めに予定し、本助成事業の事業報告会の中で報告されるものと考えています。  
**バスの利用に際して、専用サイトの申込みなど、スマートフォンの操作が必要**となりますが、バスの利用方法やスマートフォンの操作に関する**モニター向けの説明会の開催や、バスや専用サイトの利用等についてのモニターへのアンケート**を行っており、**利便性向上に向けた検討**を重ねていると伺っています。

### 荒井モビリティの試乗についてのご連絡と予定

荒井モビリティバスの乗車実証実験が行われ、地域交通の課題を把握するために、私自身が参加しています。

荒井モビリティが持続的に運行され、地域住民や企業員の移動手段として定着し、住民同士の交流やお店の活性化を目指します。この試乗プロジェクトを通じて、地域住民の交通便利性の向上を目指し、地域の活性化への貢献を期待しています。デジタル決済の促進により、地域経済の活力を高める一助となることを願っています。



▲モビリティバス外観

▲車内

仙台市立学校  
における

## GIGA スクール関連の予算について

鈴木  
すみえ

仙台市立学校に1人1台端末と学校内の高速大容量の通信ネットワークを整備し、**学術情報ネットワークの高速環境**を活用し、学校からインターネットでの接続回線の増強を図り、端末の安定的な稼働が実現されてます。**GIGAスクール関連の予算は幾ら投じたか、具体的な数字を示して頂き、令和3年度から令和4年度へ繰越明許費**がありました。その額と原因を伺う。

市民協働  
推進課長

令和4年度決算における学校の情報化関連では、**教育情報ネットワーク運営約7億5100万円、各学校におけるコンピューターの維持管理約2億3000万円、ICT支援員の配置約2億100万円、校務支援システム運用約7800万円**など、**合計約20億7900万円**です。また、繰越額については、国の補正予算の対応のため、令和4年第1回定例会で増額補正及び繰越明許の承認をいただいた**教員用の端末1,457台の追加調達費用約6,600万円**にかかるもので、令和4年11月に完了しました。

鈴木  
すみえ

文部科学省による実証事業に参加しながら、**学習者用デジタル教科書の効果的な活用**に向けた授業実践にも取り組んだそうですが、**どのような結果だったでしょうか**お示しください。それに**端末を安全に扱うために、IDパスワードの管理を児童生徒はできているのか**、また、**写真機能もついているようですが、どんなものを写すのでしょうか**。

市民協働  
推進課長

学習者用デジタル教科書につきましては、**指導者用のデジタル教科書も含め、各学校において授業実践を行い、その活用事例**を収集いたしました。また、IDパスワードの管理については、**各学校においてパスワード等を他人に教えないこと、他人のIDを使用したりしないこと**と児童生徒に適切な指導しており、問題となったことはございません。

鈴木  
すみえ

ぜひ活用していただいて、有効に使っていただきたいと思います。また、子供たちがGIGAスクールといいますが、**ICTを活用しながら郷土を愛する力を養っていくためのツールとして正しく使っていくことを求めます**。例えば地域ならではの取組があると思います。そういったことをどのようにお考えなのか伺います。

市民協働  
推進課長

ICTを用いた教育については、授業で使うということだけではなく、例えば**VR教材だったりとか、いろいろな場面で活用がされているか**と思います。今後も、ほかの関係部署と協力しながら、そういったことを進め、適切に児童が教育を受けられるように頑張っていきたいと思います。



GIGAスクール用の端末の一例

市民の声  
における

## 男女共同参画課の新たな取組について

鈴木  
すみえ

市民が市役所の窓口対応で、提出した書類の保護者欄に母親の名前を記入したところ、**母親の名前だとシングルマザーみたいに感じられるので、シングルマザーでなければ父親の名前にして**と言われた。その方は、なぜ保護者欄の名前が母親ではいけないのかと聞き返したが、返答はなく、父親がいる限り保護者ではないといった潜在的な考え方に傷ついた。本市には、こうした**\*アンコンシャス・バイアスを改める取組**を進めていただくことを求めます。御所見をお聞かせください。

\*「アンコンシャス・バイアスとは」…自分自身は気づいていない「もの見方や捉え方の歪みや偏り」をいいます。

市民協働  
推進課長

男性の家事育児参画を阻害していることについて、**性別による固定的な役割分担意識や無意識の思い込み、アンコンシャス・バイアスが存在していることが要因の一つと捉えております**。職場のみならず、家庭や地域など様々な場面において、そうした考え方を取り除き、**男女共同参画の主体であることの普及啓発**を進めていくことが重要。全ての市民の皆様がそれぞれの**個性と力を十分に発揮できる環境づくり**に向けまして、今後も取組を推進してまいりたいと存じます。

成果

私が求めていた、性的少数者カップルを婚姻相当関係と認める「**パートナーシップ制度**」が2024年度中に導入されることが決定しました!「**要綱**」によって定めるのではなく「**条例**」として定め、多様性をさらに尊重する制度をつくりたいと思います。

連絡先

●仙台市議会議員 鈴木 すみえ

〒984-0057 仙台市若林区三百人町96-2  
TEL: 022-797-0331 FAX: 022-797-0332

●市民フォーラム仙台

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1  
Eメール sumichan5963@gmail.com

